

| H149 政党政治論 | |
|------------|---|
| 英名科目名 | Political Parties |
| 大学名 | 同志社大学 |
| 連絡先 | 今出川キャンパス教務センター（法学部） TEL：075-251-3511 FAX：075-251-3064 |
| 担当教員 | 森 裕城（法学部教授） |
| 開講期間 | 2021年09月25日(土)～2022年01月24日(月) 1講時 09時00分～10時30分(毎週火曜日) 休日授業日 2021年11月23日（火） 休講 2021年12月28日（火） 休講 2022年01月04日（火） |
| 開講形態 | 後期・秋学期 開講曜日・講時 火曜日 1講時 |
| 単位数 | 2 履修年次 1年次以上 |
| 会場 | 今出川校地 |
| 授業定員 | |
| 単位互換生定員 | 京カレッジ生定員 |
| 試験・評価方法 | <成績評価基準> 期末試験 80% 論述式の試験を実施する 小レポート 20% 講義の時間内に小レポートを課す（毎回ではなく、複数回実施予定） 現在進行形の政党政治の展開に応じて、一部、内容を差し替える場合がある。 |
| 超過時の選考方法 | |
| 受講料 | |
| 別途負担費用 | |
| その他特記事項 | 2021年度の「政党政治論」は秋学期開講科目なので、対面での授業を予定しているが、授業方式に変更があった場合は（対面形式 ネット配信）、成績評価の方式を変更する可能性があることを付記しておく。 |
| パッケージ科目 | |
| 低回数受講推奨科目 | |
| 講義概要・到達目標 | <概要> 本講義では、政党政治に関する基礎理論を概説したうえで、政治過程論の立場からなされた政党政治（とりえず日本に限定）に関する研究を体系的に紹介する。具体的には、（1）なぜ自民党政権が継続したのか、（2）自民長期政権下でどのような政治が展開されたのか、（3）1990年代半ば以降、二大政党化現象が進展したのはなぜか、（4）民主党政権が機能不全に陥ったのはなぜか、（5）かつての自民党政権と現在の自民党政権は同じものなのか、という5つの疑問を扱う。現在進行形の政党政治については、受講生が自らの力で考えることができるように、議論の材料を提供する。政治学と政治評論の違いを明確にするため、可能なかぎり資料・データに基づき、理論的・実証的に講義を展開したい。 <到達目標> 日本の政党政治について、政治学の理論・モデル、資料・データに基づき、一定の分析が独自にできるようになる。 |
| 講義スケジュール | 第01回 「政党政治論」の射程 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 第02回 政党政治論の秩序観 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 第03回 日本の政党政治に関する疑問 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 第04回 戦後政党政治の展開：自民党政権の長期化と野党の多党化 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 第05回 自民一党優位の政治過程：選挙過程 |

| | |
|--|--|
| 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第06回 自民一党優位の政治過程：派閥・族議員・国対政治 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第07回 野党は何をしていたのか？：日本社会党 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第08回 政治改革に揺れた90年代の政党政治 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第09回 「失われた10年」から「構造改革」へ 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第10回 小泉の登場と自民党政権の変化 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第11回 2005年総選挙の分析：郵政解散と小泉自民の圧勝 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第12回 二大政党化現象の進展：非自民政権の動向 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第13回 2009年総選挙の分析：民主党勝利・自民敗北の構図 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第14回 民主党政権の機能不全 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 第15回 「政党政治論」の総括 講義プリントで提示された参考文献等を各自読み進めること。 | |
| 現在進行形の政党政治の展開に応じて、一部、内容を差し替える場合がある。 | |
| 教科書 | |
| 参考書 | <p>荻部直・宇野重規・中本義彦編『政治学をつかむ』（有斐閣、2011）、ISBN：978-4641177154、本書は政治学の入門書である。講義担当者は「政治家と官僚」、「政治参加と選挙」、「マス・メディアと政治」を執筆しており、その内容は本講義「政党政治論」の一部と関連している。</p> <p>岡沢 憲夫『政党』（東京大学出版会、1988）、ISBN：978-4130321037、本書は政党政治に関するテキストである。その内容は本講義「政党政治論」の理論編に箇所と関連している。</p> <p>蒲島 郁夫『戦後政治の軌跡 - 自民党システムの形成と変容 -』（岩波書店、2014）、ISBN：978-4000287821、本書は戦後日本政治に関する研究書である。その内容は本講義「政党政治論」における自民一党優位下の投票行動を解説する箇所と関連している。</p> <p>森 裕城『日本社会党の研究 - 路線転換の政治過程 -』（木鐸社、2001）、ISBN：978-4833223157、本書は戦後日本政治に関する研究書である。その内容は本講義「政党政治論」における自民一党優位と野党の動向を解説する箇所と関連している。</p> <p>水崎 節文・森 裕城『総選挙の得票分析1958-2005』（木鐸社、2007）、ISBN：978-4833223942、本書は戦後日本政治に関する研究書である。その内容は本講義「政党政治論」における選挙結果を解説する箇所と関連している。</p> <p>川人 貞史・吉野 孝・平野 浩・加藤 淳子『現代の政党と選挙 新版』（有斐閣、2011）、ISBN：978-4641124240、本書は政党政治に関するテキストである。その内容は本講義「政党政治論」の理論編に箇所と関連している。</p> |